



“萬來舎”は明治9年に三田山上にできた慶應義塾社中のサロン。
残念ながら戦災で焼失してしまいましたが、
生涯、人と人との対話を重視した福澤諭吉の
“萬來舎”の精神は今も義塾社中に引き継がれています。

萬來舎

KEIO TECHNO-MALL 2013 (第14回慶應科学技術展)

慶應義塾先端科学技術研究センター (KLL) では、産学連携を推進するため、毎年12月にKEIO TECHNO-MALL (慶應科学技術展) を開催しています。今回のテーマは「育てる産学、育つ夢」。企業と研究者が出会い、製品や商品という「実」や「夢」を育てる道のりへの一歩となる展示会を目指します。今年度は「バイオメディカル」「情報コミュニケーション」「エレクトロニクス」「マテリアル」「メカニクス」「社会・環境」などの分野から約70テーマの研究を展示するほか、研究者による技術セミナーやラウンドテーブル、理工学部創立75年記念パネルディスカッションなどのイベントを開催します。

日時：12月13日(金) 10:00～18:00

会場：東京国際フォーラム 地下2階 展示ホール2

主催：慶應義塾先端科学技術研究センター (KLL)

(慶應義塾大学理工学部・大学院理工学研究科)

URL <http://www.kll.keio.ac.jp/>

第29回留学生による 日本語スピーチコンテスト

慶應義塾で学ぶ留学生が、日本の文化、社会をどのように見ているのか、そして母国のそれと比較して、どのような違いや新たな発見があったのかなどを日本語でスピーチします。

今年のコンテストは下記の日程で開催します。

日時：12月7日(土) 13:00より(予定)

場所：三田キャンパス 三田演説館

主催：KOSMIC (コスミック/国際センター塾生機構)

後援：国際センター、日本語・日本文化教育センターほか

※入場無料、事前申込み不要。詳細は11月頃「慶應義塾大学国際センター」Webサイト、イベント欄に掲載します。

SFC Open Research Forum (ORF) 2013

SFC 研究所では、研究成果の発表と産官学連携の推進を目的に、毎年SFC Open Research Forum (ORF) と称する研究成果の一般公開の場を設け、展示、デモンストレーション、セッション等を実施しています。18回目となる今年度は、「創のbazaar」をテーマに開催します。



日時：11月22日(金)・23日(土・祝)

10:00～19:30 (ただし23日のホールは18:00開場)

会場：東京ミッドタウン ホール&カンファレンス

入場無料/事前登録不要

主催：慶應義塾大学SFC研究所

※詳細は「ORF 2013」Webサイトをご覧ください。

第18回慶應医学賞 授賞式・受賞記念講演会

慶應医学賞は本学医学部卒業生の坂口光洋氏からの寄付金で設置された慶應義塾医学振興基金より授与されるもので、例年、世界の医学を中心とした諸科学の発展に寄与する顕著、かつ創造的な研究業績を挙げた研究者を顕彰しています。

今年の授賞式関連行事は下記の日程で開催します。

授賞式・受賞記念講演会

日時：11月27日(水)

14:00～17:30

会場：信濃町キャンパス 北里講堂

(北里記念医学図書館2階)

※事前申込み不要。

※詳細は「慶應医学賞」Webサイトをご覧ください。

学生生活に関するお知らせ

奨学金

□日本学生支援機構奨学金の「奨学金継続願」提出について

日本学生支援機構奨学金の「奨学金継続願」の提出を、下記の要領で受け付けます（予定）。継続を希望する奨学生は、在籍キャンパスの奨学金担当の指示に従い、手続き用の書類を受け取ってください。期間内に手続きを怠った場合は「奨学金の廃止（交付打ち切り）」となります。
手続き期間：2013年12月～翌1月
手続き方法：Web上での提出

□日本学生支援機構奨学金の返還手続きについて

2014年3月に奨学金の貸与が満期となる奨学生は、11月から12月にかけて返還の手続きを行ってください。手続き内容は採用年度により異なり、2009年度以前採用者は「返還誓約書」の提出を、2010年度以降採用者は、「リレー口座」への加入を行います。返還誓約書は、貸借関係の確認と今後の返還方法を取り決めるために作成する大切な書類です。提出の際は、記入ミス・もれがないかを十分確認した上で、期間（掲示で確認）を厳守し、提出してください。

なお、返還金は、再び奨学金として後輩に貸与されることとなりますので、遅滞なく返還してください。

※奨学金関係の日程、手続きについての詳細は、在籍キャンパスの掲示等で必ず確認すること。

慶應義塾長賞の募集

2013年度の慶應義塾長賞の候補を募集します。

この賞の目的は、学生の広範囲な活動のうち、学業成績や体育活動とは別に、学術・芸術・社会活動・文化活動等の多様な分野において、学生の範となる活躍をし、その行為が当人の荣誉であるばかりでなく、慶應義塾にとっても光輝ある業績と認められるものについて、これを広く義塾内外に知らしめ、顕彰することにあります。

出願資格：学部学生・大学院生

募集期限：2014年1月9日（木）

募集の対象となる活動：

学術・芸術・社会活動・文化活動等に関する活躍によって、原則として2013年1月から12月の間に学生の範となる顕著な成果を挙げたことが明らかになったもの。

なお、サブゼミ・自主ゼミなどを含め、正課から派生した活動は対象となりませんのでご注意ください。

慶應義塾長賞への応募は各キャンパス学生部・学生課 学生生活担当（湘南藤沢は事務室）で受け付けます。詳細は担当窓口へお問い合わせください。

小泉体育奨励賞の募集

2013年度の小泉体育奨励賞の候補を募集します。

小泉体育奨励賞は、人物が優秀で、かつ健康であり、スポーツを通じて義塾の名声を高めた体育会所属以外の団体または個人を表彰するために制定された賞です。

出願資格：体育会所属以外の学部学生・大学院生

募集期限：11月18日（月）

募集対象：原則として2013年1月から12月の間に次のいずれかの成果を挙げた体育会所属以外の団体または個人とします。

- ・全国大会またはこれに準ずる大会で優勝を遂げた団体または個人
- ・国際試合に出場し、わが国のスポーツ水準の向上に寄与する業績を挙げた団体または個人
- ・その他スポーツを通じて、顕著な功績を挙げた団体または個人

小泉体育奨励賞への応募は各キャンパス学生部・学生課 学生生活担当（湘南藤沢は事務室）で受け付けます。詳細は担当窓口へお問い合わせください。

編集後記

本誌の創刊は1963年、東京オリンピックの前年である。先日2020年の東京大会が決定して沸いているが、前回大会当時の本誌を開いてみると、学生部主催「小泉信三先生をかこんで」という座談会が掲載されていた。太平洋戦争前にゼミ生が定期的にお宅に集まって歓談した木曜会にちなみ、改めて発足したもので、学生約50名が参加し、オリンピックのことや学生生活など率直に語り合っている。その後も著名な塾員や名誉教授を呼んで開催されたようだ。B5判4段組モノクロの誌面はスタンドグラスでご紹介しているように1995年まで続いた。輝いている塾生について表情をアップで伝えたいとの若手編集員の意見で誕生した新コーナーPortrait。今後も不定期にお届けする予定である。
(広報室長 石黒敦子)

次号(281冬号)の発行は
1月1日予定

通巻 第280号
編集人 石黒敦子
発行人 駒村圭吾
発行所 慶應義塾
2013年10月15日発行

お問い合わせ、ご意見等は下記
へお願いします(住所変更は必
ず学生部へお届けください)。

〒108-8345
東京都港区三田2-15-45
慶應義塾広報室「塾」編集部
Tel 03-5427-1541(直)
Fax 03-5441-7640
m-juku@adst.keio.ac.jp

※バックナンバーは、Webサイ
トにてご覧いただけます(2001
年度以前は目次のみ)。http://
www.keio.ac.jp/ja/about_keio/
publications/juku/

手続き

□休学願の提出について

今年度分の休学願の提出締切日は、11月29日(金)です。休学願の提出にあたっては、学部・研究科により手続き方法が異なりますので、所属地区の学事担当部署または事務室の学部・研究科の担当者に、早めに相談してください。

就職・進路

□就職ガイダンスの開催について(学部3年生・修士1年生対象)

就職ガイダンスの開催日時や内容等についての詳細は就職・進路担当の窓口や各キャンパス内所定の掲示板で公開しています。また、各キャンパスの就職・進路担当のWebサイトでも随時情報を更新していますので、各自で確認の上、参加してください。



URL <http://www.gakuji.keio.ac.jp/life/shinro/main.html>

授業

□三田祭期間中の授業の取り扱いについて

11月21日(木)から24日(日)に三田祭が開催されます。なお、三田祭前後の準備および後片付け期間については、各学部・研究科により授業の取り扱いが決められています。詳細は、各キャンパスの掲示または学生部Webサイトなどで確認してください。

URL <http://www.gakuji.keio.ac.jp/index.html>

□休日の授業について

11月4日(月)は「文化の日」振替休日ですが、授業を行います。

□学事日程における補講日と代替講義日について

授業回数の確保・調整のため、補講日を11月19日(火)午前、2014年1月15日(水)、16日(木)に設けています。また、1月14日(火)は月曜代替講義日として月曜日の授業が行われます。なお学事日程は、大学院・キャンパスによってこれと異なる部分がありますので注意してください。

URL <http://www.gakuji.keio.ac.jp/schedule/index.html>